

第33期決算公告

令和7年12月4日

埼玉県さいたま市中央区新中里四丁目14番17号

株式会社ジェーエステック

代表取締役社長 中尾 毅

貸借対照表

(令和7年9月30日現在)

(単位:千円) 付記事項

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	432,540	流動負債	267,235
現金及び預金	192,943	未払金	10,235
完成業務未収入金	28,520	業務未払金	11,612
未成業務支出金	102,242	未払費用	11,940
前払費用	8,810	未成業務受入金	154,600
		預り金	2131
		未払消費税等	9,174
		未払法人税等	16,242
		賞与引当金	50,903
		その他	395
固定資産	178,533		
有形固定資産	138,824	固定負債	18,431
建物	50,306	退職給付引当金	17,000
構築物	0	預り保証金	441
工具、器具及び備品	1,091		
土地	95,498	負債合計	285,666
		純資産の部	
無形固定資産	2,528	株主資本	325,348
ソフトウェア	1,809	資本金	31,000
電話加入権	719	利益剰余金	294,348
		その他利益剰余金	294,348
投資その他の資産	29,108	繰越利益剰余金	294,348
投資有価証券	151	評価・換算差額等	58
出資金	10	その他有価証券評価差額金	58
長期差入保証金	1,625		
繰延税金資産	27,322	純資産合計	325,407
資産合計	611,073	負債純資産合計	611,073

当期純利益金額 30,730千円

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 市場価格のない株式等以外のもの
 - 時価のあるもの
 - 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - 個別法による原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備に限る）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 13～38年

構築物 15年

工具、器具及び備品 3～10年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務を退職給付引当金として計上しています。

4. 収益及び費用の計上基準

収益の計上基準

完成基準を採用しております。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

6. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。